

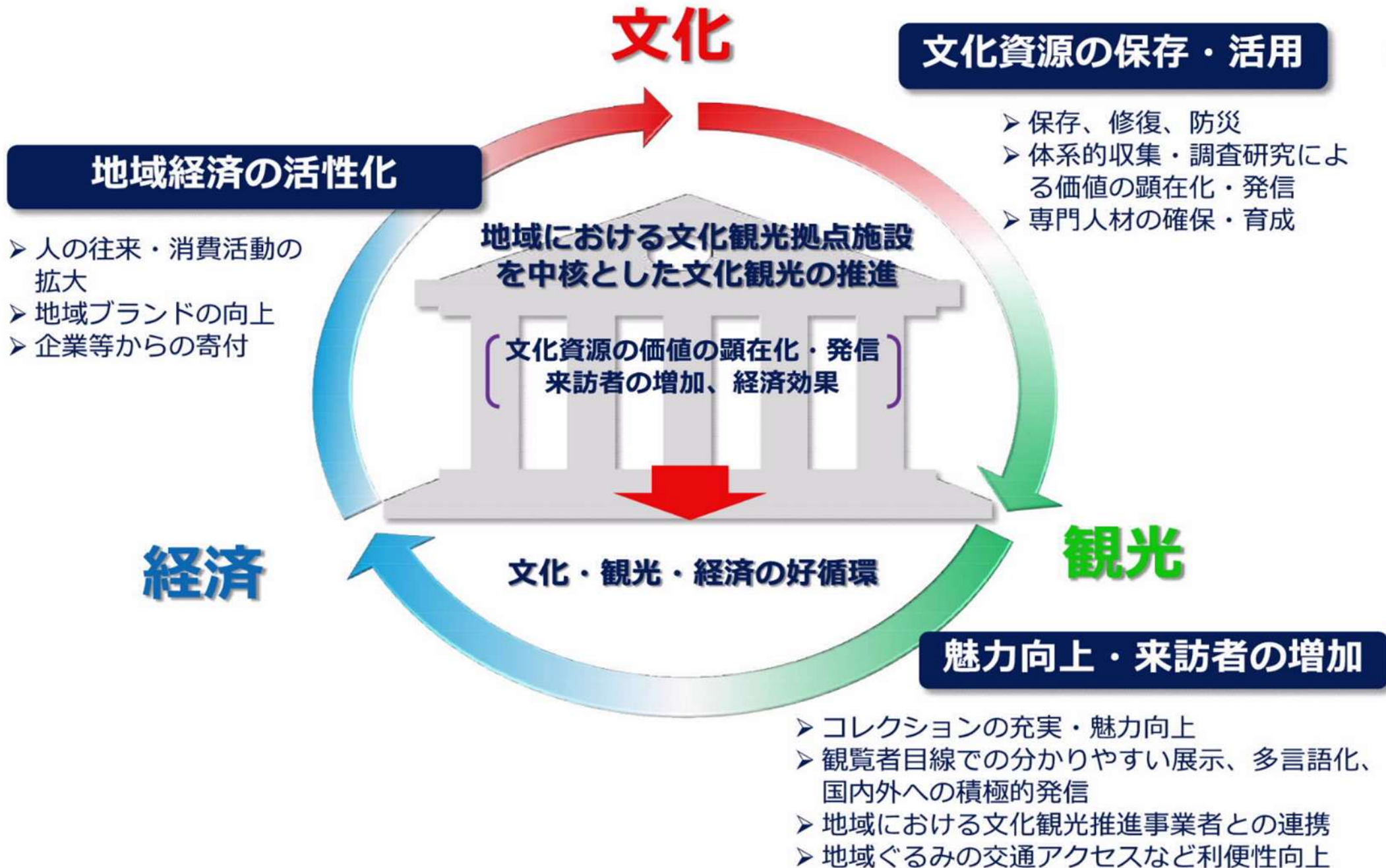
文化観光としての 新博物館 1 階活用案について

観光プロモーション課

はじめに

- 新博物館は、立地的に松本城へと続く大動脈の入り口に位置し、松本駅を中心とした新市街（生活エリア）と、松本城を中心とした旧市街（歴史観光エリア）を結ぶ場所に位置しています。
- 大名町は、歴史の流れで金融・商業エリアから、文化観光エリアへと移行しつつあり、今後のまちづくりの観点からも、その重要性は増しています。
- 近未来の市街地では、お堀の復元、市庁舎の再建、JR松本駅のリニューアルなどのビッグプロジェクトが計画されています。一方、時代と共に産業構造も変化し、まちの役割や商売の形態も大きな変革が求められています。
- 新博物館の立ち位置や本来の担うべき役割を熟慮し、「必要なもの」「求められているもの」「伝えたいもの」を明確にしたソフトコンテンツとそれを動かすソフトパワーが重要なカギとなります。
- 観光サイドとしては、文化財や文化施設等を活用し来訪者を増加させ、そこで得られた観光消費を、文化に再投資させる「文化、観光、経済の好循環」を図るうえで新博物館はその拠点に成り得る施設であると考えています。

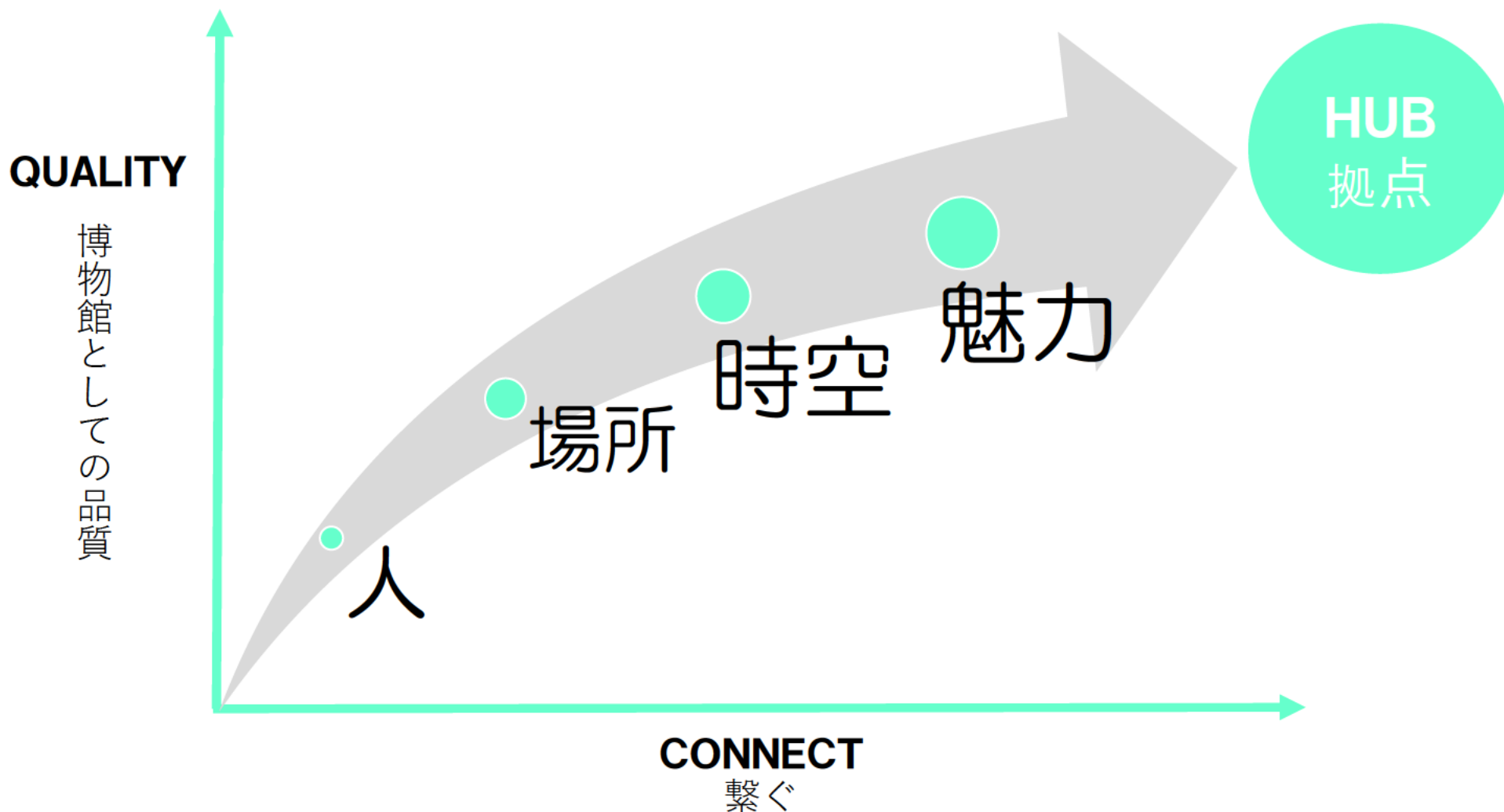
文化観光の考え方



新博物館 1 階活用（案）

1 新博物館 1 階活用の方向性

縦軸に博物館としての「品質」を、横軸には「つなぐ」をコンセプトにして「まちのHUB」として、そして市民一人ひとりが自分だけの「マイ博物館」と思ってもらえる博物館運営を目指す。



2 新博物館1階のテーマ

テーマ ▶ “つなぐ”

新博物館が・・・

- ・ **人** 人と人をつなぐ（市民、商店街、来訪者）
- ・ **場所** 街とつなぐ、山や自然とつなぐ
- ・ **時空** 過去と未来をつなぐ、リアルとバーチャルをつなぐ
- ・ **魅力** 文化・芸術・他の文化施設とつなぐ
農業文化とつなぐ

・・・を“つなぐ”

新博物館 1階活用（案）

3 1階活用の提案

① デジタルコンテンツの活用

- VR等の体験型コンテンツの導入（登山体験、ジップライン体験等）
- 無料Wi-Fi環境の整備
- 多言語アプリ等の導入
- キャッシュレス化
- プロジェクションマッピングを活用したウィンドウショー



② リアリティの可視化

- 学芸員による修復作業や作品調査業務の公開 → 「見える収蔵庫」
- ウィンドウは、外と中の境界を感じさせない活用
- 地元アーティストを中心とした創作活動等の公開（市民利用）

③ アートとビジネスのドッキング

- 企業タイアップ企画の導入（ex パタゴニア、画廊・アート専門者との連携）
- 文化体験や博物館巡りの宿泊パッケージツアーの企画（浮世絵博物館との連携）
- 商店街等とのタイアップ（企画展に合わせた特別メニュー、オリジナルグッズの開発）
- ウィンドウギャラリー側の軒下を活用した「テラス席」の設置（カフェ、待合せ、語らい、読書の場に）

新博物館 1 階活用（案）

3 1 階活用の提案

④ 利便性向上

- 市営大手門駐車場の無料化（1時間～2時間）
- 松本駅からの周遊バスまたは、博物館を巡るデマンド交通の導入
- まちの情報ステーション（観光、イベント、市民活動等）

⑤ 体験型ワークショップの充実

- 隣接する榊形跡を活用した体験学習の実施（古代の生活体験等）
- ナイトツアー等の企画
- 企画展や特別展と連動したワークショップの開催

⑥ まちなかアートプロジェクトとの連動

- 街全体でアートに触れる機会を提供し、回遊性の向上と賑わいの創出を目指す「まちなかアートプロジェクト」との連動。

新博物館 1 階活用（案）

4 運営についての提案

① コーディネーター力のある人材活用

中心市街地から松本城天守へ向かう重要な場所に位置する新博物館を、「わくわくする場所」とするためには、多様化と創造的活動をこれまで以上に幅広い視野で、市民や地域、芸術活動を行政や学芸員とを結び付ける人材が必要と考えます。そのためには、コーディネーターもしくはプロデューサーが必要と考えます。（外部からの登用も含む）

② 市民も参加する企画運営協議会の設置

市民が新博物館をより身近に感じてもらうためには、特別展や企画展の計画段階から市民が参加できる体制づくりが必要と考えます。そのため、市民組織の協議会を設置し、市民参画型の企画運営を提案します。

③ 友の会（ボランティア組織）の設置

市民や企業が博物館活動に参加（支援）する仕組みを充実させることは、地域からの信頼と質の高い博物館活動に繋がります。そのためには、既存の市民学芸員制度のほかに、イベントやワークショップの運営にコミットしてもらえるボランティア組織が必要と考えます。（単年度制による不連続が連続する組織）